

Pass It (パスィット)

中学年用

- 概要** ターゲット単語とセンテンスを使ってカードを回していくゲーム
- ターゲット** ターゲット単語、センテンスの定着
- 準備物** ターゲット単語の絵カード
- 導入** ターゲット単語、センテンスを導入
児童を円状に座らせる
- 進め方**
 - ①講師はターゲット単語の絵カードを児童に見せ、単語を言い、隣の児童にカードを渡す。
 - ②カードを渡された児童は、同様に、単語を言い、隣の児童にカードを回す。
 - ③制限時間を設け、最後にカードを持っていた児童の負け。
 - ④負けた児童は、ターゲット単語を10回言う。

※ 高学年では、センテンスを言わせるとよい。
- バリエーション**

カード2枚以上を使って、別の場所から回す。
カード2枚以上を使って、何枚かは右回りに、あとの何枚かは左回りに回す。
カードを隣の人に渡すときに、ジャンケンに勝ったら渡すことができるルールにする。(ジャンケンに負け続ければ、カードを持ったままになる。)

アクティビティ実践例

略語一覧

PC	ピクチャーカード	HP	ECCジュニア・ホームページ
S	児童(1名)	C	クラス
Ss	児童(複数)	HRT	担任の先生

準備物 果物の絵カード、キッチンタイマー

センテンス&ボキャブラリー apple, banana, melon, orange, strawberry, peach
Here you are. Thank you.

活動内容	先生の動き	児童の動き
モデル	<p>児童5人を前に出す。 S1, S2, S3, S4, S5, come up to the front. (S1, S2, S3, S4, S5は前に出てください。)</p> <p>先生を中心に円を作らせる。 Make a circle. (円になりなさい。)</p> <p>タイマーを30秒にセットする。 I'll set the timer for 30 seconds. (タイマーを30秒にセットします。)</p> <p>絵カードを1枚選び、その単語を言い、隣の児童に渡す。 "Apple." (リンゴ。) "Here you are." (どうぞ。)</p> <p>同様に単語を言い、隣の児童に渡すように言う。 Say "apple", and pass the card (to the next person). (「リンゴ」と言って、カードを隣の人に渡してください。)</p> <p>Ready...go! (準備して…、始め!)</p>	<p>S1: Thank you. (ありがとう。)</p> <p>S1: Apple. (リンゴ。) Here you are. (どうぞ。)</p> <p>S2: Thank you. (ありがとう。) Apple. (リンゴ。) Here you are. (どうぞ。)</p>

活動内容	先生の動き	児童の動き
モデル	<p>タイマーが鳴ったところで止める。 Time is up. (時間切れです。) Who has the card? (カードは誰のところにありますか?) S3, I'm sorry, but you lose. (S3の負けです。) Say the word 10 times. (単語を10回言ってください。) Good job! (よくできました!) Let's give him a big hand. (彼に拍手をしましょう。)</p> <p>Go back to your seats. (席に戻ってください。)</p> <p>Do you understand? (わかりましたか?)</p>	<p>S3: ぼく。</p> <p>S3: Apple, apple, apple...</p> <p>C: Yes. (はい。)</p>
アクティビティを行う	<p>児童に円を作らせる。 Everybody, make a big circle. (みなさん、大きな円になってください。)</p> <p>タイマーを2分にセットする。 I'll set the timer for 2 minutes. (タイマーを2分にセットします。) カードを3枚回していく。 Say the word and pass the card (to a person next to you). (カードの単語を言って、隣の人にカードを渡してください。) I'll pass three cards at the same time. (同時に3枚のカードを回します。) Ready...go! (準備して…、始め!)</p> <p>“Apple.” (リンゴ。) “Here you are.” (どうぞ。)</p> <p>“Banana.” (バナナ。) “Here you are.” (どうぞ。)</p> <p>“Melon.” (メロン。) “Here you are.” (どうぞ。)</p> <p>モデルと同様に進め、タイマーが鳴った時点でカードを持っていた児童は、単語を10回言う。カードは3枚回っているため、3人がそれぞれ自分の持っているカードの単語を10回ずつ言う。</p>	<p>C: OK. (オッケー。)</p> <p>S1: Thank you. (ありがとう。) Apple. (リンゴ。) Here you are. (どうぞ。)</p> <p>S2: Thank you. (ありがとう。) Banana. (バナナ。) Here you are. (どうぞ。)</p> <p>S3: Thank you. (ありがとう。) Melon. (メロン。) Here you are. (どうぞ。)</p> <p>同様にタイマーが鳴るまで続ける。</p>